

平成26年度「新興国市場開拓等事業費補助金(ミッション・見本市等出展支援事業(ロシア・中央アジア諸国:ミッション派遣、展示会等を通じた有望分野における市場獲得支援))」

1. ミッション派遣事業 2. 展示会・フォーラム／セミナー等開催事業
カザフスタン水・環境ビジネス促進展示会 & ビジネスマッチング

事業報告

2014年10月 ROTOBO

1. 事業の目的

平成25年6月14日に閣議決定された日本再興戦略では、海外市場の成長を取り込む「国際展開戦略」を大きな柱の一つに掲げ、経済連携の推進及び官民一体での海外市場獲得の重要性を打ち出している。とりわけ、ロシア・中央アジア諸国は石油・天然ガス等豊富な資源を背景とした力強い経済成長を続けており、将来的に市場規模の拡大が見込める市場として評価が高い。

しかし、日本とロシア・中央アジア諸国との経済関係は、現状、比較的順調に拡大しているものの、資源依存型という相手国の経済構造の特性も影響し、貿易は日本の資源輸入と日本からの機械や自動車等の輸出に偏重、投資の伸びもごく緩やかなものに留まっている。特に、ロシア・中央アジア諸国が日本からの高度技術の導入による自国産業の高度化、国民生活の質的向上を図ることに強い関心を抱いているにも関わらず、日本からの技術移転はほとんど進んでいない。日本の強みである高度ハイテク技術の提供を通じてこうした現地側の希望に応えることは、日本企業にとってビジネスチャンス創出と新しい市場の獲得に繋がり、二国間の経済関係発展、ひいては日本経済の成長に資するものとなる。

以上の認識に鑑み、本事業では、ビジネスミッションの派遣やミニ展示会・見本市と共にフォーラムまたはセミナー等の開催を通じ、カザフスタンに対し、日本のハイテク分野、とりわけ現地側の関心の強い日本の得意な環境分野である水・環境ビジネスを中心に、相手国に日本の技術導入を図ることを目的とする。

2. 実施内容

10月23日(木)にカザフスタンの首都、アスタナで開催される「第5回日本カザフスタン経済官民合同協議会(以下、協議会)」に合わせ、水・環境分野に関わる日本の高度技術を紹介する展示会・プレゼンテーションを開催するとともに、同分野における専門家が同行し、技術的な説明やカザフスタン企業との商談の際のサポート等を行った。具体的には以下のとおり。

(1) 「日本カザフスタン水ビジネス促進プレゼンテーション」

協議会の分科会において、日本企業による水分野に関わる技術関連のプレゼンテーションを実施。

(2) 「日本水関連技術ミニ展示会」

協議会の平行行事として、同会場においてカザフスタン側参加者に日本企業の持つ高度な水関連技術をPRするための小規模な展示会を開催(パネル展示含む)。

(3) 「日本カザフスタン水ビジネス促進ビジネスマッチング」

協議会の枠内でカザフスタン側参加者と、日本側の本事業によるミッション参加企業との間の個別面談を実施。

3. 派遣者

芳地 隆之 (一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 次長

橋之爪 理佳 (一社)ロシアNIS貿易会業務部

下野 達観 (一社)膜分離技術振興協会 事務局長

4. 派遣日程

2014年10月21日(火)～10月25日(土)5日間

	日 程	旅 程		宿泊地
1	10月21日 (火)	13:30 16:00 18:10 21:55	成田発(OZ103) ソウル／仁川着 ソウル／仁川発(OZ577) アルマトイ着	アルマトイ
2	10月22日 (水)	08:45 10:30 12:30～	アルマトイ発(KC851) アスタナ着 会議・展示会 打ち合わせ及び準備	アスタナ
3	10月23日 (木)	10:00～20:00	第5回日本カザフスタン経済官民合同協議会 日本水関連技術ミニ展示会	アスタナ
4	10月24日 (金)	AM 18:45 20:25 23:10	アスタナにて企業視察 アスタナ発(KC851) アルマトイ着 アルマトイ(OZ578)発	機中泊
5	10月25日 (土)	07:50 10:00 12:10	ソウル／仁川着 ソウル／仁川(OZ104)発 成田着	

5. 業務概要

【10月22日(水)】

午後:上記、展示企業・団体の担当者と最終打ち合わせ。(一社)膜分離技術振興協会の担当者とは、ミニプレゼンテーションの時間割などについて協議。展示会場となるアスタナ・ラジソンホテルの会場にて設営の進捗状況を確認し、上記各社向けの展示用の看板、パンフレット(ロシア語)、カザフスタン側に発注したモニター、コンピュータを使って、映像資料のテスト上映などを行う。

【10月23日(木)】

第5回日本カザフスタン経済官民合同協議会会場に併設された展示会場にて各社・団体の展示会を開催(展示・説明の概要は別紙を参照。なお、NECは同社のイメージビデオを上映)。カザフスタン側の訪問者に日本企業の技術を紹介し、商談を行うためのサポートを実施。各社とも今後の商談のための道筋をつけた。なかでも(一社)膜分離技術振興協会は13:00～13:30および16:00～16:30にミニプレゼンテーションを行い、カザフスタン側の参

加者の関心の向上に努めた。

【10月24日(金)】

午前:2017年のアスタナ万博の事業会社である「Astana Expo-2017」を訪問し、博覧会会場建設予定地を視察。環境インフラ面に配慮した運営の方法などについて協議。また、カザフスタンの太陽電池モジュールを製作するアスタナ・ソーラー社を訪問し、同社の製造現場を視察し、太陽光発電の現状などについて質疑を行った。
午後:上記団体・企業と、今後のカザフスタンにおける技術の売り込みの可能性などについて協議を行う。

6. 展示会概要

◆展示会案内(日本人向け)

**第5回日本カザフスタン経済官民合同協議会
水・環境ビジネス促進展示会のご案内**

■展示会
日時：9:00-18:00
場所：ラディソンホテル「Sary Arka」前室
出展団体：
◆三菱レイヨン
◆膜分離技術振興協会
(水処理膜技術にかかわる膜分離技術振興協会の活動紹介)
◆NEC
(ポスター・映像による紹介)
◆横河電機(株)
(Brochure、弊社製品の紹介本、映像による紹介)

■膜分離技術振興協会プレゼンテーションのお知らせ
日時：第1回13:00-13:30、第2回16:00-16:30
場所：展示会場「三菱レイヨン」展示ブース前
内容：水処理膜技術にかかわる膜分離技術振興協会の活動

★お気軽にお立ち寄りください★



展示ブースでの商談の様子 1



展示ブースでの商談の様子 2



展示ブースでの商談の様子 3
膜による浄水技術のデモンストレーション



ミニ・プレゼンテーションの様様